

2014年10月28日（火）陸奥新報17面 掲載



紙で作ったリングを投げて遊び、科学の楽しさを体験する子どもたち

## 弘前大学 工学部 児童ら参加イベント

# 科学つて面白い

弘前大学総合文化祭に合わせて、弘前大学理工学部（宮永崇史学部長）は26日、一般参加型イベント「楽しい科学」と「サイエンスへの招待」を文京町キャンパスの理工学部1号館、2号館を会場に開いた。多くの家族連れらが詰め掛け、体験教室や遊び、展示を通じて科学の魅力や面白さの一端に触れた。（今井珠世）

## 飛行リングなど挑戦

小学生以上が対象の「楽しい科学」は二足歩行する木製のロボットやゲーム、光通信の仕掛けなど、手作りや工作など18企画、高校生以上が対象の「サイエンスへ」は19企画が行われた。事前に参加者を募集した体験テーマ教室では、親子連れが学生の指導を受けながらFMラジオ作りや化石の模型作りに熱中した。

「楽しい科学」の企画の一つ「飛行リング」は、五所川原市の三好小6年酒井麻妃さん（11）は「リングを作るのは簡単。飛ばすのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。飛ぶのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。飛ぶのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。」と笑顔で語った。

※この記事は、陸奥新報社提供です。

無断転載はできません。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

jm3505@cc.hirosaki-u.ac.jp

単。飛ばすのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。飛ぶのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。飛ぶのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。